



東京湾河口干潟保全再生検討
報告書

平成16年3月

東京湾河口干潟保全検討会

はじめに

東京湾は我が国の代表的な内湾の一つである。海岸部では長い年月をかけて江戸川、荒川、多摩川、養老川そして小櫃川をはじめとする大小の河川が土砂を運搬し広大な干潟を形成してきた。

干潟は水質を浄化し、生物に良好な生息の場を提供するなど環境面で様々な機能をもち、人々はその恵みを受けてきた。東京湾の干潟と人間生活との関わりは古く、その豊かな自然の情景は万葉集にも「夏麻引く海上潟^下」とうたわれ、そして今なお江戸前の名で親しまれているように漁場として、そして釣りや潮干狩りなどのレクリエーション空間等として、その重要性は変わっていない。

しかしながら、首都圏の中心に位置する東京湾の沿岸は、我が国の他の内湾に比べ土地利用の圧力が強く、江戸時代以降埋め立てや港の建設そして航路整備などが進められてきた。特に近年では、残土や廃棄物の処分地としても活用されるなど首都圏の発展と相まって加速的に改変が進み、かつて広く存在した東京湾の干潟はほとんど姿を消し、その結果、生物の種数やその個体数の減少など様々な環境への影響が顕在化してきている。

このような中、自然環境の保全・再生は、豊かで潤いのある生活環境を求める新たな時代のニーズとして今日的な課題となっている。とりわけ、東京湾では首都圏にふさわしい潤い豊かな水辺環境形成の期待は大きく、かつての良好な干潟環境の保全・再生への意識は各方面で高まりを見せている。

国土交通省においても所管する河川や海岸について自然環境保全の観点から河口およびその周辺の干潟（以下「河口干潟」という）に着目し、他の内湾では経験したことがない程高度に利用の進んだ東京湾を対象に、これまでの開発と自然環境の変化の関連を整理し、東京湾における河口干潟の保全・再生の方向性を検討するため、工学、生物学の専門家などで構成される「東京湾河口干潟保全検討会」を平成13年11月に設置した。

検討会では、モデル干潟として選定した三番瀬における現状や課題を整理し、その保全・再生のための方向性について検討を行った。さらにモデル干潟の検討結果をもとに、東京湾の河口干潟の保全の方向性と再生の考察をとりまとめた。

検討会は3年間で11回開催され、現地での踏査及び検討やヘリコプターによる上空からの視察も行われた。特に関東地方整備局江戸川河川事務所が江戸川放水路及び三番瀬を対象に3年間実施した現地調査では、台風による出水の影響と三番瀬の構成材料や水質の変化状況などを把握し、その結果をもとに検討会ではより科学的な議論が交わされた。

これら検討会で得られた結果は、今後の具体の河川及び海岸の管理に反映させるとともに、さらなる東京湾再生の議論に活かされ、そして全国の干潟の保全・再生の取り組みの参考となることを期待する。

夏麻引く 海上潟の 沖つ渚に 舟は留めむ さ夜ふけ

(万葉集 卷十四, 詠み人知らず)

夏麻引く 海上潟の 沖つ渚に 鳥はすだけど 君は音もせず

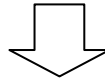
(万葉集 卷七, 詠み人知らず)

東京湾学への窓 - 東京湾の原風景 - (高橋在久, 1996)

東京湾河口干潟保全検討会 検討経過

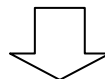
平成13年度

検討会の開催	検討内容
第1回検討会 (平成13年11月22日)	東京湾における干潟の現状 モデル干潟として選定した三番瀬の環境の現状
第2回検討会 (平成14年1月17日)	河口干潟における環境の課題 三番瀬における河川の作用と現状
現地検討会 (平成14年2月25日)	現地視察
第3回検討会 (平成14年3月12日)	保全目的 三番瀬における各課題の検討の方向性



平成14年度

検討会の開催	検討内容
第4回検討会 (平成14年5月16日)	本年度の検討項目と検討内容 江戸川及び三番瀬の出水時調査計画(案)
第5回検討会 (平成14年8月9日)	課題の検討(水際へのアクセス性という観点から見た河口干潟への影響検討等)
第6回検討会 (平成14年11月19日)	課題の検討(三番瀬への導水計画の検討、江戸川放水路からの出水による三番瀬の環境変化等)
第7回検討会 (平成15年3月6日)	課題の検討(江戸川放水路からの出水による三番瀬の環境変化) 東京湾全体の干潟の保全の検討手法(案)



平成15年度

検討会の開催	検討内容
東京湾ヘリ視察 (平成15年6月2日)	現地視察 (ヘリコプターによる東京湾一周)
第8回検討会 (平成15年7月10日)	本年度の検討項目と検討内容 課題の検討(三番瀬をモデルとした主な具体的検討、江戸川放水路からの出水による三番瀬の環境変化等)東京湾河口干潟再生に関する一考察

<p>第9回検討会 (平成15年10月16日)</p>	<p>課題の検討(江戸川放水路からの出水による三番瀬の環境変化)、東京湾河口干潟保全の方向性、東京湾河口干潟再生に関する一考察</p>
<p>第10回検討会 (平成16年1月20日)</p>	<p>課題の検討(江戸川放水路からの出水による三番瀬の環境変化)、東京湾河口干潟再生に関する一考察</p>
<p>第11回検討会 (平成16年3月10日)</p>	<p>東京湾河口干潟の保全の方向性について(案) (3年間の検討のまとめ)</p>

東京湾河口干潟保全検討会 メンバー

磯部 雅彦 東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授
清野 聡子 東京大学大学院総合文化研究科 助手
二瓶 泰雄 東京理科大学理工学部土木工学科 講師
風呂田 利夫 東邦大学理学部生物学科 教授

(五十音順)

行政委員 坪香 伸 国土交通省河川局河川環境課 課長
(岡山 和生 前国土交通省河川局河川環境課 課長)
金尾 健司 国土交通省河川局河川環境課 河川環境保全調整官
宮武 晃司 国土交通省河川局河川環境課 課長補佐
池内 幸司 国土交通省河川局治水課 河川整備調整官
渥美 雅裕 国土交通省河川局治水課 企画専門官
(小俣 篤 前国土交通省河川局治水課 企画専門官)
松本 秀應 国土交通省河川局治水課 課長補佐
(内藤 正彦 前国土交通省河川局治水課 課長補佐)
(小平 卓 元国土交通省河川局治水課 課長補佐)
細見 寛 国土交通省河川局砂防部保全課海岸室 室長
(櫻井 克信 前国土交通省河川局砂防部保全課海岸室 室長)
横山 晴生 国土交通省河川局砂防部保全課海岸室 海洋開発官
(小池 剛 前国土交通省河川局砂防部保全課海岸室 海洋開発官)
(岸田 弘之 元国土交通省河川局砂防部保全課海岸室 海洋開発官)
笛田 俊治 国土交通省河川局砂防部保全課海岸室 課長補佐
藤田 光一 国土交通省国土技術政策総合研究所環境研究部河川環境研究室 室長
(安田 佳哉 前国土交通省国土技術政策総合研究所環境研究部河川環境研究室 室長)
福濱 方哉 国土交通省国土技術政策総合研究所河川研究部海岸研究室 室長
(鳥居 謙一 前国土交通省国土技術政策総合研究所河川研究部海岸研究室 室長)
青山 俊行 国土交通省関東地方整備局河川部 部長
(安川 歩 前国土交通省関東地方整備局河川部 部長)
大西 亘 国土交通省関東地方整備局河川部 河川調査官
(山田 邦博 元国土交通省関東地方整備局河川部 河川調査官)

- 唐澤 仁士 国土交通省関東地方整備局河川部 地域河川調整官
- 田中 敬也 国土交通省関東地方整備局河川部河川計画課 課長
- (小島 優 前国土交通省関東地方整備局河川部河川計画課 課長)
- 畠山 慎一 国土交通省関東地方整備局河川部河川計画課 建設専門官
- (常山 修治 前国土交通省関東地方整備局河川部河川計画課 建設専門官)
- 木暮 陽一 国土交通省関東地方整備局河川部河川環境課 課長
- 長野 拓朗 国土交通省関東地方整備局河川部河川環境課 建設専門官
- (唐沢 潔 前国土交通省関東地方整備局河川部河川調整課 建設専門官)
- 前原 克二 国土交通省関東地方整備局河川部地域河川課 課長
- 酒井 義尚 国土交通省関東地方整備局河川部地域河川課 建設専門官
- 高柳 淳二 国土交通省関東地方整備局江戸川河川事務所 所長
- (加納 敏行 前国土交通省関東地方整備局江戸川工事事務所 所長)
- 佐藤 元樹 国土交通省関東地方整備局江戸川河川事務所 副所長
- 野路 一 国土交通省関東地方整備局江戸川河川事務所 建設専門官
- (米谷 信行 前国土交通省関東地方整備局江戸川工事事務所 建設専門官)
- 榊 茂之 国土交通省関東地方整備局荒川下流河川事務所調査課 課長
- 石鉢 盛一朗 国土交通省関東地方整備局荒川下流河川事務所事業計画課 課長
- 吉田 成人 国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所河川環境課 課長
- (山田 政雄 前国土交通省関東地方整備局京浜工事事務所河川環境課 課長)
- 内藤 公夫 千葉県土木部河川海岸課 課長
- (印東 亮 前千葉県土木部河川海岸課 課長)
- (松尾 弘道 元千葉県土木部河川海岸課 課長)
- 市東 洋 千葉県土木部河川海岸課 副課長
- (宮崎 義昭 前千葉県土木部河川海岸課 副課長)
- (鈴木 良雄 元千葉県土木部河川海岸課 副課長)
- 力久 広之 千葉県土木部河川海岸課 企画調整室 室長
- (吉野 英夫 前千葉県土木部河川海岸課 主幹)

事務局 財団法人 リバーフロント整備センター

前田 諭 / 池田 正 / 岡田昭八

南城利勝 / 三島京子 / 手塚文江 / 天野光歩 / 牧野一正